

第58号

はこぞき新聞

発行者：
 箱崎環境対策協議会
 はこぞき新聞編集部
 中央区日本橋箱崎町34-8
 Tel 03-3667-5667

協賛：
 日本橋法人会箱崎支部

平成29年1月1日発行

箱崎町箱四町会HP
 箱崎睦会HP

<http://www.hakozaki4.cher-ish.net/>
http://www.geocities.jp/hakozaki_mutsumi/

年始挨拶



箱崎町の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様には気持ちも新たに、希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年中は、町内の全ての行事や催し物が滞りなく無事に終了できましたことは、一重に箱崎三町会の皆様のご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。特に、7月の大川端ビアパーティでは町会員の皆様は勿論のこと、普段あまり町会行事に参加できない町内企業の社員の方々にも大勢参加頂き、700名を超える一大イベントとなっております。

また、今年は3年に一度の富岡八幡宮の本祭りの年であります。江戸三大祭りの一つとして名高いこのお祭りを、3年の間待ち焦がれていた皆様の期待を裏切らないよう、町会員、睦会そして各企業の皆様の絶大なるご協力をお願いしたいと思っております。

近年町内に多数の新しいマンションが建っております。当然大勢の新しい住民が入居してまいります。従来からの住民と新住民とがお互いに打ち解けあい、町内行事や又、何時起きてもおかしくない大震災、大災害に備えて日頃より仲良く、子供もお年寄りも和気あいあいと生活できる「安心・安全」の町づくりに向かって尚一層の努力をしてまいりたいと思っております。

「町も企業も伸びる箱崎」を目指し、今年も皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

箱崎北新堀町会 会長 大塚英一

富岡八幡宮大祭に寄せて

箱崎三町会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年は、3年に一度の大祭の年です。本当に月日の経つのは早いものですね、今でも3年前の大祭の記憶が昨日のようにハッキリと浮かんできます。大祭デビューの3人の総代、新調された赤半纏、ワインレッドの半纏に白の長股引の金棒引き。皆様の記憶もよみがえってこられたのではないのでしょうか。昨年、箱崎に新総代が生まれました。宮田二郎さんです。総代として迎える大祭！何かと気苦労もあるかと思えます。皆様暖かく見守ってくださるようお願いいたします。

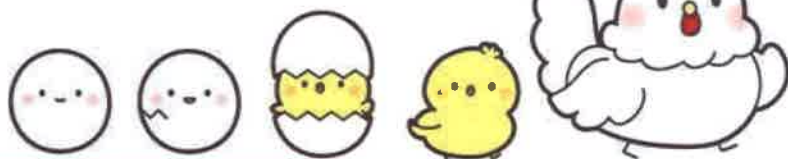
皆様もご存知の通り、私たち箱崎の神輿は、富岡八幡宮の町神輿で唯一戦災を免れた、大正年間の作風を残す立派な神輿です。二尺五寸の台座で擗の総彫り、金象嵌。水をかぶると綺麗なあめ色に変わっていくこの神輿を担ぎたいと、各地から集まる担ぎ手も多数います。今年も皆様と一緒に立派な渡御を行いたいと願っています。

神輿の渡御は総代だけでは成り立ちません。担ぎ手の皆様はもちろんですが、配給、警護そして婦人部の皆様など、裏方を担ってくださる多数の方々のご協力が必要です。皆様には諸々のご支援を賜りたくないとぞよろしくお願ひ申し上げます。今年の連合渡御は8月13日です。皆様のご期待に沿えるよう、誰からも称賛される立派な渡御を行いたいと、総代一同気持ちも新たに取り組んでまいります。

神輿総代 福本光男

各町会の新年会開催のお知らせ

- 箱崎北新堀町会
1月24日(火)
18時00分～
TCATさくらにて
- 箱崎二・三丁目町会
2月7日(火)
18時00分～
TCAT龍鳳にて
- 箱崎町箱四町会
1月26日(木)
18時00分～
TCAT龍鳳にて



箱崎二・三町会バスハイク

今回のテーマは“近くでゆっくりと楽しむ”で計画しました。

箱崎出発10時、小雨が降る中を出発！しかし、常磐道を走るうちにお陽様が顔を出し、昼食処に着く頃には快晴でした。現地は大安とあって結婚式があり、花嫁さん方の記念撮影が行われていました。心の中で「お幸せに！」と祈りつつ会場へ。

ミニ懐石ランチを食べて（評価は？私はまあ〜良かったのではと思いましたが）、順調過ぎてぶどう狩りの時間までゆとりができました。サプライズを計画し、近くの筑波ハム工房を見学に行くことにしました。

こぢんまりとした処です。説明を聞きながら一通り工場内を見学し、お楽しみの試食タイム！結構多めに用意されていましたが、余りの美味しさに完食状態でした。美味しさに誘われて、ショップではついつい買い過ぎてしまいました。しかし、ソフトクリームを食べ損なったのは心残りです。

さて、メインのぶどう狩りへ向かいます。そこは小さな農園のように見えますが、案内されると結構な広さがありました。説明を受けてハサミとカゴを借りて食べ放題です。巨峰とシャインマスカットの二種類あって、どちらも甘くてとても美味しかった。

各人、思い思いに房を選び、カゴへ、お口へと忙しい様子。満足気に畑を出て、売店へ向かいました。お土産に、配送に、と各々楽しくぶどう狩りを終えました。

最後は歴史ある“シャトーカミヤ”へ行きました。現在工場は稼働しておらず記念館のようで、自由見学でした。試食コーナーはありましたが、ほんの一口です。しばらくのんびりと時を過ごし、帰路に向かいました。

全行程を無事終了し、皆元気で一日を過ごしました。筑波ハム工場が思い出に残ったかも知れません。楽しい一日になったと思います。

次回はどこか？分かりませんが、町会員の親睦の為にも続けて欲しいと思いました。

箱崎二・三町会 婦人部長 西澤千代子



晴天にも恵まれました。

箱四町会バスハイク

バスハイクに携わって早いもので8年になります。恒例のバスハイクの報告です。

毎年どこに行こうかと企画を立てる苦労はありますが、楽しみでもあります。いつも心配するのがお天気です。数日前から天気予報が気になります！この時ばかりは、雨が降らないようにと神頼みの心境です。

11月20日（日）、雲一つない穏やかな晴天に恵まれ、バスは34人を乗せて箱崎を出発。立川防災館では6年前の東北大震災のビデオを観ました。あの大津波を見て改めて震災の恐ろしさを感じました。津波は全てを飲み込みそして家族までも失う悲惨な出来事。近い将来、関東大震災は必ず起きると言われています。その時私たちは命を守るためにどうすればいいのかと考えさせられました。

次は日野市の新選組のふるさと歴史館を見学しました。新選組副長土方歳三の出身地・石田村があり近藤勇や沖田総司と共に剣術の稽古に励んだそうですね。また、新選組関係の書状など多くの資料も残されているとの事。新選組のふるさとと言われる土地であると説明を受け納得です。

何よりも一番の楽しみの昼食は八王子市大和田店のとうふ屋うかいです。日本庭園の素晴らしい紅葉を観ながらコースで出てくる豆腐料理に舌鼓を打ちお酒も会話も進みあつという間に時間は過ぎてしまいました。皆さんの満足そうな笑顔にひと安心。流石に評判通りでした！！



とうふ屋うかい

そしてバスは八王子市の黄色のいちよう並木を進んで行きます。この日は丁度、いちよう祭りの真っ最中で大勢の人がいちようの木の下で午後のひと時を楽しんでました！ 私たちもバスから降りて、いちようの葉を踏みしめて武蔵陵墓地に向かいました。食後のウォーキングには丁度いい散歩コースでした。広大な昭和天皇のお墓は素晴らしかったです。

最後は東京タワーの夕日の予定でした！ 映画「三丁目の夕日」をもじって「四丁目の夕日」といきたいところでしたが、夜景になってしまいました。



武蔵陵墓地

なかなか自分では足を運ばない東京タワー。久々に展望台に上り夜景を楽しみました。

今回も皆様の協力のお陰で楽しいバスハイクが出来ました事感謝申し上げます。行き届かないところも多々ありました。来年も一人でも多くの方に参加して頂けるような企画を立てたいと思います。

箱四町会 企画部長 寺元 薫

箱四町会夜警

冬になると火事のニュースを耳にすることが多くなります。

空気の乾燥、暖房・電気器具の使用の増加など季節の理由もありますが、火災を引き起こす最も大きな原因として例年あげられているのが「放火・不審火」、それから「たばこの火の不始末」「たき火」です。火災が起きないように大事なはずはまず予防！ということで、町会では毎年、師走の夜回りを実施しています。

昔ながらの拍子木を打ち鳴らして火の用心を呼びかけつつ、火の元になりかねない屋外に放置された物品も確認しながら町内を歩きます。毎晩いかつい男性陣が夜警に回っているのは頼もしいところですが、日によって婦人部の面々が出動することもあります。着ぶくれた女性の集団が拍子木や保安灯を手に手に、のしのし歩き回るのもまた心強いものかと思えます。

夜警に出ると、人目につかない路地、置きっぱなしの廃材など、昼間には気づきにくいものを改めて「危ないな」と感じるが多々あります。

みなさま日々の火災予防、安全対策に気をつけてお過ごしください。

箱四町会 婦人部 伊藤亜紀



夜警を終えて、ひと息

餅つき大会の写真集です



第43回子供餅つき大会

12月4日(日)快晴のもと、第43回子供餅つき大会が日本橋箱崎町、蛸殻町、人形町、小網町の15町会合同で執り行われました。とても多くの方のご尽力とお越し下さった方々そしてちびっ子達のおかげで餅つき会場は蒸気と熱気でとても盛況でした。今回来られなかった方には是非来年はお越しいただきたいです。出来れば若い元気のよいお父さんにも参加して頂き、力強い姿をお子さんにアピールして頂ければと思います。

私事ではありますが今回は三の部地区委員として初めての参加でした。こんな盛大な催しものなので「準備が大変だろう」と内心思い、戦々恐々としていたのですが、蓋を開けてみるとそこは経験豊富な地区委員メンバーが動き軽やかに(年齢の割に)サクサク進めていきます。感心しながら指示されるままに動いていたので、実際はそれほどありませんでした。ただ一つ大変だったのが米とぎ作業で、約六百kgのもち米を約30名で代わる代わる研ぐ、この作業がなかなかの重労働でした。最初は笑顔で話しながら楽しく研いでいたのですが、最後の方は疲労の色が濃くなり、誰もが無口に黙々と作業をしていました。



私は本部で供出分のお餅を提供するお手伝いをしていたのですが、買い求めた後に「とても美味しかった、さすがつきたてですね」とわざわざ戻ってきて感想を述べてくれる方が多かったです。これもひとえに多くの方が一生懸命お餅をついてくれたおかげです。特に箱崎はついている量が多かったので、翌日は筋肉痛だったのではないのでしょうか!! 参加された皆様本当にお疲れさまでした!

さて私は箱崎に住み始めて早いもので8年が経ち、今回初めて箱崎新聞に寄稿させて頂きますが、是非読者の皆様にお伝えしたいことがあります。私は町内会、睦会、青少年地区委員と参加する機会を頂き、とても有意義な時間を多くの仲間と共有でき楽しんでおります。参加するまでは、このような活動には縁がなく、どちらかというと「面倒」「大変そう」という多くの方が持っているようなマイナスなイメージを持っていました。

しかし参加して思ったことが、まず人間関係は想像する以上に良好です。予定があれば欠席しても構いません、個々を尊重していますので変なしがらみもありません。色々なイベントの準備は楽ではありませんが、その後の達成感や充実感は仕事とはまた違ったものを感じることが出来ます。参加するのに勇気があるでしょうが、新たな自分を発見できます。まずは一歩踏み出してみては如何でしょうか?

日本橋三の部地区委員 木村明寿



第11回箱崎バーベキュー大会

11月13日(日)に、箱崎睦会主催の第11回箱崎バーベキュー大会が実施されました。例年ですと、午前中に浜町公園グラウンドで町会対抗のソフトボール大会を行っていましたが、月島での東京オリンピックの選手村の建造が始まったことから晴海グラウンドが閉鎖され、その影響から浜町公園グラウンドが取れず、本年は中止となりました。それにもかかわらず、箱崎3町会を合わせて大人77人、小人22人の計99人という大勢の方が参加してくれました。(今回、町会の回覧・ポスター以外にwebでの申し込みを初めて試みて、申し込みが多数ありました。)

当日は、天候にも恵まれて、用意した生ビールは飛ぶように消費されました。(今年は、飲み放題を謳いました。)食堂アサノさんのご厚意(フランク・じゃがバター・おにぎり)をはじめ、用意した食べ物の方も焼そば、イカ焼き、焼肉、野菜焼き、おでん、クリームシチューとことごとく完食となり、予定の時間13:00~15:00(2時間)はあっという間に過ぎてしまいました。

また、今回は、カボチャの重さ(1,558g)や用意した肉の量(21,518g)を当てるクイズを行いました。一番近い答えをしたのは、箱崎北新堀町会の栗山さん(カボチャ1,500g、肉22,000g)と箱崎北新堀町会の木村さん(カボチャ1,500g)でした。来年も、新たな趣向を試みて行って参りますので、楽しみにして下さい。

最後になりましたが、開催に協力していただいた方々、ならびに参加していただいた方々、どうもありがとうございました。

箱崎睦会副会長 白崎敏孝



ちょっと直話

人生の第一歩、箱崎公園から!

ネーッ 見て見てッ
 すごいでしょ。この写真。
 カメラの液晶画面をのぞき込む。
 何がスゴイの?
 写真にはお母さんと芝生の上に立つヨチヨチ歩きの女の子。
 今ネ、この子が初めて、ここで立って歩いたのヨッ。ヘー、この芝生の上で?
 人生の第一歩ってこと?
 『そーなのヨ!』 その瞬間の写真?
 『そーなのヨ!』 そりゃ良い写真だね!
 箱崎公園で人生の第一歩か!
 良い話したヨ。
 でしょー! 記念の写真でしょ!
 てな訳で、箱崎公園見守りボランティアの時にたまたま撮った写真です。
 女の子のお名前は、あゆこちゃんでした。
 写真を撮った人 増淵明子
 投稿した人 山中園廣

這えば立て!



おっかなビックリ

立てば歩めの親心、、、ですね。



思わず拍手を送りたくなる瞬間でした。

区議便り

中央区の未来を描く 「新しい基本構想」づくり

年初にあたり、中央区の「基本構想」づくりについてお話致します。現在の基本構想は、「生涯躍動へ 都心再生——個性がいきる ひととまち」で平成10年に策定されました。基本目標として①思いやりのある安心できるまちづくり②うるおいある安全で快適なまちづくり③にぎわいとふれあいのある躍動するまちづくりの3つを定めて施策を展開してきました。策定当時の定住人口は7万2千人でしたが、今や15万人突破が目前となり、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会まで3年と迫るなど中央区をとりまく環境・状況は近年大きく変化しています。そこで昨年より、次の20年後を展望した新たな基本構想づくりが始まり、区民の方々と共に話し合いを重ね本年中に取りまとめ、議会での議決により決定する予定です。

私は、今日、高齢者のかたや障がいのあるかたが、この地域に住んでいて良かったと実感し、生涯心豊かに生きがいをもちながら暮らしてゆけると思えること、そして子育て世代の方たちも安心して子育てしやすいと感じ子供たちも伸び伸びしていることが大切であると思います。現在をより良くすることが20年後の平和で暮らし良いまちにつながることを考え区政に取り組んでまいります。

○「中央区観光情報センター」オープン

京橋に「中央区観光情報センター」がオープンしました。地域のイベント情報を一元化しており、国内外からの旅行者はもちろん地域の皆さんも楽しく情報収集できる新しいスポットとなっています。銀座線京橋駅から直結していますので、是非一度足をお運びください。

身近な場所で外国人の旅行者をよく見かけるようになり、またビジネスホテルを多く目にするようになりました。取り巻く環境は日々変化しますが、安心安全なまちづくりをすすめて参ります。

中央区区議 染谷真人



防災訓練

昨年11月20日(日)、有馬小学校防災拠点において防災訓練が行われました。

有馬小学校防災拠点とは、有馬小学校の通学地域にあたる近隣十町会の住民が大震災の際、有馬小学校を拠点に住民の皆様と共に避難場所を確保し、避難生活を助け合う組織です。

当日は朝8時45分に各町会の一時集合場所に集結し、それぞれ有馬小学校に集合しました。9時より代表の挨拶のあと区の防災担当者から訓練の説明があり訓練開始となりました。各町会の参加者を四つの班、避難所運営班・活動要員班、負傷者・要介護者支援班、渉外・交渉班、食料・物資班、に分けそれぞれの役割について訓練を行いました。

体育館では避難所設営の訓練が行われました。毎年新しい用具や設備が開発され、昨年のエアーマットに続き今年には屋内用間仕切りテントが新たに開発されました。これは避難民が家族単位でプライバシーが守れるようにと開発されたものです。

訓練の最後には管理栄養士の今泉マユ子先生による「災害時でもいつもの食事を」今日から出来る災害食備蓄と題した講演が行われました。災害時にはともすると空腹を満たせば良いという思いで非常食を考え備蓄をしますが、冷たい物より温かい物、古い物より新しい物という考えで、期限いっぱいまで備蓄して廃棄するより、一年単位で食べながら補給する、より美味しい保存食を揃えるとの教えには目から鱗でした。

最後に校庭にて食料・備蓄班が用意した美味しいカレーライスを試食し、防災グッズをお土産に解散となりました。

有馬小学校防災拠点運営委員会
委員長 大塚英一



負傷者・要介護者支援の様子

災害食備蓄講演を聴く参加者



箱崎から町会功労賞5名

11月3日の勤労感謝の日、銀座ブロッサム(中央会館)に於いて、中央区から町会功労賞として5名が表彰されました。

箱崎二・三丁目町会から2名

西澤千代子
竹門 教子

箱崎町箱四町会から3名

小笠原宣夫
秋山 和子
山中 順子

おめでとうございます。これからも益々のご活躍を期待しています。

箱崎二・三町会 会長 加藤恵一



西澤さん
竹門さん

秋山さん、山中さん、小笠原さん



今年前半の主な行事予定

- 1～2月 各町会新年会
- 3月12日 夜間防災訓練
[箱崎連合町会]
- 3月 三の部子供スケート教室
[日本橋三の部地区委員]
- 4月中旬 春の交通安全運動
- 4月下旬 手作り鯉のぼり
[箱崎イベント部]
- 時期未定 東日本大震災復興
チャリティフリーマーケット
- 5月 子供わんぱく相撲
[日本橋三の部地区委員]
- 7月下旬 隅田川河畔ビアパーティ
[箱崎連合町会]
- 8月11～13日 箱崎宵の縁日、盆踊り大会
富岡八幡宮例大祭
神幸祭・神輿連合渡御
[箱崎睦会、富岡・総代会]
- 8月下旬 中央区
大江戸祭り盆踊り大会
(予定は変更になる場合があります)

立ち話 ～その2～

昨年の夏、子供神輿連合渡御の付き添いで門前仲町へ行きました。その貸切バスの中で思い出した事があります。車内は担ぎ手の子供たちや付き添いの親御さん、総代さんたちでギューギュー詰めでしたが、昭和から平成一桁の時代くらいまではもっとスリリング(?)な送迎方法でした。

神輿連合渡御の朝、大神輿は箱崎の神酒所から大型トラックの荷台に載せて富岡八幡宮近くまで運びますが、担ぎ手も大型トラックの荷台に「積載」して「輸送」していました。トラックの荷台は意外と高さがありますので、乗り降りには苦勞しました。担ぎ手は、立った状態で運ばれます。往きは永代橋のアップダウンで少々揺れますが、電車みたいな吊り手はもちろんありません。両足で必死に堪えるのです!!

富岡八幡宮が近づくにつれ、各所から担ぎ手を「満載」したトラックが集まってきます。そんな時、担ぎ手たちは今日の健闘を誓い合って、お互い拍手で迎え合いました。沿道の見物客からも拍手が送られて、俄然担ぐ気分も高揚してきました。

復路はさらに大変です。神輿渡御が続いていますから、永代通りは通行止め。トラックは大きく迂回しなければならず、交差点を曲がる回数やブレーキ回数も多く前後左右に揺れます。もちろん立ったままの乗車で、渡御コースを担ぎ切って疲れている身体には堪えませんでした。

その後、帰りの移動手段は東西線利用に変わりました。門前仲町駅から乗車すると、ズブ濡れの半纏姿が入ってきて周りの乗客はビックリ。冷房の効いた車内は、ズブ濡れの担ぎ手には冷え過ぎに感じてビックリ! 茅場町駅で降りる頃には、寒くて震えてました。

その後はバスでの送迎へ。安全重視とは言え、バスの送迎では誰も拍手して迎えてくれないので寂しいよね～。

皆様、ありがとうございました。箱四の「ふれあい福祉委員会」は社会福祉協議会から助成金を頂いて活動をしています。

その社福協で使用済みの切手や書き損じ葉書を募集しているのを知り、敬老会の案内の返信葉書を郵便ポスト投函ではなく、直接持参して欲しいと書いたところ、約半数の葉書が届きました。ついでに切手を届けて下さった方もいました。

箱四ふれあい福祉委員会の名前で社福協へお届けしたことを報告致します。

クリスマスツリー点灯式を行いました

12月3日(土)18時より、恒例のクリスマスツリー点灯式を行いました。

ツリーとイルミネーションの設営は箱崎町のイベント部によって11月26日に行いましたが、翌27日あたりからツリーが傾いてきました。ツリーは、水天宮ピット側、公衆トイレ側、日本橋川側の三方向からロープで引っ張ってバランスを保つようにしているのですが、ツリー先端の結束部分が外れたためバランスが崩れてしまい、傾いたようでした。

点灯式の数時間前にイベント部メンバーが再集合し、一度ツリーをばらしての結束部分を改修しました。光っていなかったトイレ側のLED電飾も交換し、再度ツリーを組み立てました。ツリーの傾きもテスト点灯もバッチリです。

17時。箱崎公園には数名の子供たちしかいません。寧ろいつもの週末より少ないぐらいです。準備を進めながら「みんな来るかなあ」とやきもきしてました。

そして18時。箱崎にはこんなに多くの子供たちが居るのか！と言うぐらい、赤ちゃんから高校生までたくさんの子供たちが集まってくれました！日本橋キリスト集会の皆様による聖歌合唱の後、いよいよカウントダウンです。

10、9、8、7、6、5、4、3、2、
あ！ちょっと点いた!? 1、0!
点灯！

箱崎公園に飾られたイルミネーション
巨大クリスマスツリー



子供たちの大歓声を聞くと、立て直した甲斐があったなあと癒されます。

聖歌やハンドベル演奏の後、みんなお待ちかねのプレゼント配布です。天気も良くてたくさん集まってくれたので、100個以上用意したプレゼントはあっという間に無くなりました。

今年はキリスト集会の方にお越しいただいたり、退屈しないよう動画を投影したりと一工夫してみました。来年もお待ちしておりますので、よろしくお願い致します！

当日の一コマです！
<https://goo.gl/PqLKVH>

イベント部 川崎 亮



ハンドベルでクリスマスソング演奏
(日本橋キリスト集会の皆さん)



箱崎町の新しいお店紹介

昨年6月にオープンしたばかりの定食屋・食堂アサノさんを紹介します。

リバーゲート(旧リバーサイド読売ビル)の向かいにお店があります。北海道当別の浅野農場の豚肉をふんだんに使った手作り料理が自慢。昼は定食やお弁当、夜は各種のお酒も楽しめるそうです。

クリスマスツリーの飾り付けを行った11月末、イベント部でランチタイムにお邪魔しました。豚カツ定食を注文したのですが、お肉は柔らかく、炊き立てのご飯も満足のいく量でした。美味しいランチを食べて、午後からの作業も捗りました。ごちそうさまでした。

営業時間：月～金 11:30～22:00
(不定休) 土日祝 11:30～21:30
日本橋箱崎町35-8 内山ビル1F
TEL 03-6661-1835

イベント部 会田 潔



§ 編集後記 §

新年あけましておめでとうございます。今年もはこぎき新聞をよろしくお願い致します。

◇
2年前のはこぎき新聞に、昔の箱崎町を大いに語っていただこう、と言う企画がありました。最初は連載となり、その後は別の方にも色々と語っていただく予定でした。しかし、その後が続かずに、編集部としても気まずい思いでした。

◇
10年ひと昔とも言いますから、20年前は十分に昔ですよ？ そんなことを考えていたところ、20年ほど前の連合渡御の風景が思い出されました。トラックの荷台に担ぎ手が乗っている、今では考えられないと思います。

◇
さらに前、銭湯券が配られていました。半纏姿のまま銭湯へ向かい、疲れを癒やしていました。まだまだ銭湯があった頃ですね。

◇
ちょっと昔の箱崎町、ぜひ原稿をお寄せ下さい。